こんにちは、小川あきらです。

きらきら通信

新春号
2022.2月

豆知識
県営ワクチン接種センター

議会報告

ぐんま女性議員政策会議の知事要望

県立女子大KDGs同好会×
ぐんま女性議員政策会議

食と農の未来を考える会

環境農林常任委員会の県内調査

前橋の農業経営士会、
農村生活アドバイザーの皆さんとの研修会

GACHi高校生×群馬県議会

DXに関する特別委員会

リベラル群馬の知事要望

※撮影時のみマスクを外しています。

群馬県議会議員 リベラル群馬

ご挨拶　2022年 新春

皆さまにおかれましては健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。お正月にはたくさんの年賀状をいただきましたが、議員は年賀状や寒中見舞いを出すことが制限されているので、こちらから年賀状を出せないのが残念です。

コロナ禍も2年が過ぎようとしていますが、オミクロン株による第6派で県内でも連日1000人前後の陽性者が確認されています（2022.2.7現在）。数字だけを見ると不安に感じる方も多いと思いますが、オミクロン株は感染力が強い一方、重症化率や致死率はデルタ株が中心だった第5波よりも大幅に低下しているとも言われています。引き続き、手洗いや消毒、密を避ける、マスクを着用するなどといった基本的な感染対策を講じながら、冷静に対応していきましょう。

1月・2月は、成人式や各町内のどんど焼き、節分祭などに参加し、多くの皆様と交流させていただきました。マスク越しでも実際に顔を合わせてお話をして、笑顔になって、お互いの尊大を感じることができるのはとてもありがたいことだと実感しています。規模を縮小したりやり方を変えたり、どうやったら社会活動や地域の伝統行事を続けていけるのか、みんなで知恵を出し合って、絆を深めていきましょう。

コロナ禍の厳しい状況はもう少し続きそうですが、本年も地域の皆さんと心を寄せ合いながら、一人ひとりが希望を持って、輝いて、そして安心して暮らしていけるように精一杯頑張ってまいります。

県営ワクチン接種センター

県議会の豆知識

新型コロナワクチンの3回目接種に向けて、県営ワクチン接種センターを設置しました。2回目以降の接種を希望される方については必要な接種間隔を経過していることが前提となります。接種を希望される方は「新型コロナワクチン接種予約」のメニューから「予約する」を選択いただき、予約手続きをしてください。

- **県央ワクチン接種センター**
  県内に住民票がある接種券をお持ちの満18歳以上の方
- **東毛ワクチン接種センター**
  東毛地域（桐生市、太田市、館林市、みどり市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町）に住民票がある接種券をお持ちの満18歳以上の方

公式アカウント「群馬県デジタル窓口」の登録はこちらから

議会報告

【令和4年第1回臨時県議会】

2022年1月21日に臨時議会を開催し、感染症対策営業時間短縮要請協力金に関する157億2595万円の補正予算を可決しました。1月21日から群馬県にも【まん延防止等重点措置】が適用されます。

県民・事業者の皆さまへの要請内容についてはこちらからご確認ください

また、コロナの影響で売上が減少した法人・個人事業主の皆さまは国の【事業復活支援金】もご検討ください。売上の減少割合等に応じて支援金が支給される新たな制度です。

制度の詳細は専用サイトからご確認ください

全国都道府県議会議長会から在職10年の【自治功労者表彰】の伝達と群馬県議会からの【顕彰状】、県知事からの【感謝状】の贈呈をいただきました。

初当選時は震災直後で被災者支援や防災対策に追われたことを今でも鮮明に覚えています。その後も豪雪や台風、新型コロナなど様々な危機に直面し、時代の変化の速さと議会の重要性を痛感する10年でした。
支えていただいている全ての皆様への感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張ります！

ぐんま女性議員政策会議の知事要望　2021.11.24

県内の超党派の女性議員で組織する【ぐんま女性議員政策会議】のメンバーで、来年度予算に向けた要望書を山本知事に提出しました！
女性の視点から、教育、福祉、男女共同参画、喫緊の課題（コロナ対策など）をとりまとめた48項目の要望です。
知事からは「県民生活に密着した具体的な提言としてしっかりと受け止めたい」という前向きな感想と女性議員の活躍に対するエールもいただきました。
県庁内の男女共同参画については、山本県政になってから本当に凄いスピードで進めていただいていて、今では本会議場の執行部席に女性の姿が5人に増え、全国でもトップクラスとなっています。
まだまだ何かにつけて「女性」という冠がつくことが多いですが、いずれは「女性」という冠がなくなる日を目指して、性別や年齢や国籍にかかわらず誰もが自分らしく活躍できる社会を作っていきたいですね！

川曲町ちょっとしたお助け隊発足式

干支だるま

クレインサンダーズ観戦

前橋市消防団歳末特別警戒

県議会新春交流会

前橋商工会議所新年互例会

前橋初市祭り

宇宙少年団前橋分団熱気球

県立女子大KDGs同好会×ぐんま女性議員政策会議　2021.11.20

県立女子大内のSDGsを推進する【KDGs同好会】の皆さんにお声がけいただき、ぐんま女性議員政策会議メンバーとの懇談会が行われました。
メインテーマは「性別や属性に関わらず、あらゆる分野での機会が保障され、個性と能力が発揮出来る社会を目指すために」

- **女性議員を増やすためには、クオータ制（議員の一定割合を女性にする制度）が必要ではないか**
- **男性中心社会のしがらみとは？**
- **女性議員が増えると、何が変わる？**
- **女性議員の活躍を阻害する要因は？**

など、他にも自治会における男女共同参画、性別役割分担意識、働く場における女性の活躍促進、男性の育休取得率、女性管理職の割合などさまざまな視点で、活発なグループディスカッションが行われました。
今回の企画は学生が中心になってわたしたちや学校側に働きかけたもので、会場の準備、内容、記者への取材依頼など完璧にこなしていただき、若者の情熱も行動力は無限大だな、と感じました＾＾
政治への無関心や若者の投票率の低下が懸念されていますが、そんなことは全然なくて、未来のリーダーたちがしっかり育っていることが実感できる1日でした♪
性別や年齢に関わらず誰もが自分らしく活躍できる社会を作っていきたいですね！

食と農の未来を考える会　2021.12.5

群馬会館に東京大学大学院教授・『農業消滅』の著者鈴木宣弘先生をお招きして、農業と食の勉強会を開催しました。県内各地から、また県外からもご参加いただいた皆様ありがとうございました。
「今の農政が続けば2035年には日本の食料自給率は現在の38%から大幅に低下し、深刻な飢餓に直面するかもしれない。」「今国内で生産している農畜産物も、種や肥料、畜産飼料の多くを輸入に頼っており、世界的な人口増加による食料の取り合いや、経済力の強い国に買い負ける可能性はますます強くなっている」という日本の農業と世界の食料問題に警鐘を鳴らす講演で、農業政策は農家だけの問題ではなく、私たち一人ひとりの食料安全保障の問題であるということを改めて感じることができました。農業政策、食料自給率、貿易の問題、学校給食の取り組みなど情報量盛りだくさんの講演でしたが、安全な食べ物を地域で生産することの大切さをみんなで共有することができたと思います。輸入食材の農薬や遺伝子組換え、ゲノム編集のことだけではなく、種や畜産飼料の輸入割合が高いことにもしっかり注目していきたいですね。
【賢い消費者】×【地域の生産者】で輸入に頼らない自立循環型社会を目指していきましょう。
午前中は前橋市内のスリーブラウンさんで中山間地域農業の課題や酪農6次産業の取り組みを視察させていただきました。鈴木先生にもお薦めのチーズをお買い上げいただきました♪

12.6 上毛　新聞掲載

環境農林常任委員会の県内調査　2021.12.6

環境農林常任委員会の県内調査で県立赤城公園と蚕糸技術センターにお邪魔しました。
昭和天皇の赤城山行幸を記念して昭和10年に開設された赤城公園は、昭和から平成初期にかけて年間100万人を超える利用者が訪れていたものの、東日本大震災の放射性セシウム汚染によるワカサギの出荷自粛や新型コロナウイルスの外出自粛などにより、現在では50万人まで半減しています。
赤城山の魅力を最大限に活かそうと、県では現在「県立赤城公園の活性化に向けた基本構想」の策定を進めています。（こちらは株式化社スノーピークに委託し今年度中に基本構想をまとめる予定です。）
本日は、県立赤城公園ビジターセンターのトライアル・サウンディング事業として7月にオープンした【ヒュッテハヤシカフェ】の取組みと覚満淵木道再整備工事の進捗状況、撤去が決まった赤城神社啄木鳥橋の現状を調査しました。
【ヒュッテハヤシカフェ】は、最高のロケーションで赤城山の美味しい恵みをいただく素敵なスペースができたということにとどまらず、このカフェがきっかけで色々な人の目が山頂に向きだし、新たな動きがあちこちで出てきているそうです。テレワークの聖地にもアウトドアの聖地にもリトリートの聖地にもなれそうな赤城山。このポテンシャルをしっかりと活かしていきたいですね！

ヒュッテ ハヤシ カフェ HUTTE HAYSHI CAFE に関するアンケート

カフェの利用状況・利用者の印象・地域への影響を把握するため、アンケート調査を実施しています。
「赤城のワクワクする未来」を実現する貴重な意見となりますので、ご協力よろしくお願いします。
実施期間：令和4年2月28日まで

老朽化していた覚満淵の木道も現在バリアフリー整備が進められています。
悪天のため本日は木道を歩くことができませんでしたが、整備状況は動画にてご覧ください ▶▶▶
そして、同じく老朽化により2019年から使用が禁止となっていた赤城大沼の啄木鳥橋はこの度やっと撤去作業が決定しました。橋自体が観光名所となっていたので、新しい橋の架け替えについてもしっかりと整備していく必要があります。

午後は群馬県蚕糸技術センターへ。
こちらでは群馬県の伝統産業である蚕糸業振興の拠点として、蚕糸業の高付加価値化に関する試験研究やオリジナル蚕品種の製造・供給、養蚕農家や製糸業者への技術支援などに取り組んでいます。
上毛かるたで「繭と生糸は日本一」とうたわれている群馬県ですが、県内の養蚕農家や製糸業はピーク時に比べると激減しています。それでも全国1位の繭生産量と生糸生産量を誇っているのは、この蚕糸技術センターの支援があってこそ。
近年では、夏の暑さに強い「なつこ」という新品種の開発や遺伝子組み換え蚕の実用化を積極的に進めるほか（今後はさらにゲノム編集蚕の研究に取り組む予定です）、ぐんま養蚕学校による担い手の育成や稚蚕人工飼料の全国供給など、群馬のみならず日本の蚕糸業・絹文化の砦として重要な役割を担っています。
一方で、研究予算の不足や担い手の高齢化など課題も多く、今後は作業負担を軽減する技術開発や高付加価値化の取り組みがより一層必要になると感じました。
また、伝統産業といいつつ、若い世代や子どもたちが養蚕に触れる機会がほとんどないので、学校や家庭で蚕を育てる機会も積極的に増やしてもらいたいと要望させていただきました。
県民の皆さんには蚕の卵を有償で配布しているので、是非ご家庭で蚕を育ててみませんか？ ▶▶▶
いずれにしてもこれまでに蓄積された技術や応用研究、遺伝子研究の成果を未来にしっかりと繋いでいってもらいたいですね！

前橋の農業経営士会、農村生活アドバイザーの皆さんとの研修会　2021.12.15

毎年恒例の前橋の農業経営士会、農村生活アドバイザーの皆さんとの研修会。現地視察では環境制御による高品質バラ生産に取り組んでいる山本バラ園にお邪魔しました。

こちらでは炭酸ガス発生器、細霧冷房システムを導入し、CO_2濃度を調整する環境制御技術により高品質なバラを生産しています。養液栽培設備導入による肥料代の節減、ヒートポンプ導入による燃油高騰対策、高設ベンチローテーション栽培管理による出荷量の平準化など経営面でも様々な工夫が見られました。良いバラを作るために日々努力と研究を重ねている姿はさすがです。

クリスマスや年度替りの歓送迎会などプレゼントには前橋のバラをいかがでしょうか？＾＾

続く意見交換会では、豚熱（CSF）対策に関するワクチン接種、埋却処分、殺処分の課題について、畜産環境対策、遊休農地の有効活用について、学校給食の地産地消、畜産飼料の自給対策についてなど、活発に議論が交わされ、例年以上に充実した内容となりました。

（CSF 対策やパン用小麦の生産拡大、畜産時給飼料振興の取り組みなど今後に期待できる話題もたくさんでました！）

施設園芸、花き栽培、米麦、畜産、果樹といったそれぞれの農家さんと行政、JA、そして消費者が連携しないと地産地消は成り立ちません。毎日ご飯を食べる時に「この食材はどこからきたんだろう？」「誰がどうやって作ってくれているんだろう？」と思い浮かべながら、生産から消費まで、しっかり考えていきたいですね。

GACHi高校生×群馬県議会　2021.12.17

若い世代に政治を身近に感じてもらう取り組みの一環で、今日は沼田特別支援学校にお邪魔しました！

- なぜ議員になったの？
- 議員のやりがいは？
- どんな人が議員に向いてる？
- 高校生の頃にやっておいた方が良いことは？
- 魅力度ランキングは必要？
- みなかみ町はバスなどの公共交通が少ない。若い人が働く場所もない。どうしたら良いと思う？
- これから先の群馬県をどうしていきたいか？

など、沢山の質問をいただき、有意義な意見交換となりました。沼田特別支援学校では鹿皮の加工に力を入れていて、生徒たちが作った製品はTERRACE沼田の福祉カフェで購入できるそうです。帰りに早速TERRACE沼田に立ち寄って、鹿皮のネームホルダーを購入♪地元のリンゴを使ったアップルジンジャーソースのポークソテーランチも絶品でした（・∀・）

DXに関する特別委員会　2021.12.21

今日は県庁32階官民共創スペースネツゲンにて、企業調査。

午前中はAWS（アマゾンウェブサービス）から、サービス内容や自治体における活用事例などを伺いました。2006年に企業向けに始まった開始したAWSは、世界で広く採用されているクラウドサービスで、サーバー、ストレージ、データベースなどをクラウド上で管理・利用でき、企業等のコスト削減や業務の効率化に活用されているとのこと。民間企業とは違い自治体DXがなかなか進まない原因や課題、人材育成の重要性などについても率直に意見交換できてとても参考になりました。

午後はソフトバンクから、企業等のDXを加速するため、AI（人工知能）やIoT、５Gを活用した課題解決の提案や具体的な取り組みについて伺いました。全国各地の自治体が抱えるそれぞれの課題を解決する取組みを行う中で、うまくいった事例、逆にうまくいかなかった事例、その原因など、多くの事例をもとにお話を伺うことができ、群馬の課題は何か、前に進めるためにどのような取り組みが必要かを整理するきっかけになりました。

リベラル群馬の知事要望
（2022年予算要望）

コロナ禍を乗り越え「誰一人取り残さない自立分散型社会の実現」に向けて、特に重要と思われる25項目について知事に要望書を提出しました。

最重点項目について ～山本知事に期待すること～

提言1 肝いり事業は成果目標を明確に【一部新規】

動画スタジオの成果指標は動画の再生回数だけでなく、地域ブランド力総合調査など一般に認知され県民に理解される指標を加えるよう求めます。併せて、ぐんまちゃんのアニメ化についても、群馬県の魅力度向上にどれだけ資するのかという視点からの検証を行い、成果を示すよう求めます。

提言2 手腕の問われるＧメッセ群馬【継続】

コロナ禍により厳しい運営状況が続いていますが、当初計画に示されているように、❶黒字運営、❷県内既存施設を圧迫しない、❸展示会や学会といった交流人口増・地元企業振興に資するイベントに特化するという命題に沿って、ニューノーマルなコンベンションの在り方を模索・実行することを要望します。くれぐれも誘致補助金のような愚策に手を染めることのないよう釘を刺し続ける所存です。

提言3 全国一の多文化共生・共創社会の実現を【一部新規】

生活相談、日本語教育、医療通訳などの体制を整備し、外国人と共生するための先進的な群馬モデルを構築するよう提言します。とりわけ、日本語指導が必要な外国籍生徒の高校退学率が高いため、夜間中学校の早期設置に向けた取り組みと、県立高校での外国籍生徒への日本語支援の充実、県立高校入学試験における外国籍生徒の特別枠を設置するよう提言します。併せて県職員の採用における国籍条項の撤廃を求めます。

提言4 県民の期待に応える「危機に強い県庁組織」を【新規】

コロナ対策や災害対応が長期化している中、特定の職場に時間外勤務が集中しないよう十分な配慮を行い、職員のよりきめ細やかな健康管理の取組みを求めます。また専門職を増員し災害や感染症に備えられる人員体制の整備を求めます。

新型コロナウイルス感染症対策

提言1 差別や分断を生まないために ぐんまワクチン手帳の活用は慎重に【新規】

ぐんまワクチン手帳については、ワクチンを接種できない事情を抱える県民への差別につながらないよう慎重に活用するよう求めます。また、ワクチン未接種者や新型コロナウイルス感染者、医療従事者らへの差別や人権侵害が生じないよう引き続き広報・啓発に取り組むとともに、これらの差別を禁止する条例を定めることを求めます。

提言2 医療・検査体制のさらなる充実を【新規】

2022年以降も円滑なワクチン接種や医療・検査体制の充実に努めるとともに、必要な時に無料または低価格でPCR検査や抗原検査が受けられる体制を構築することを求めます。また、感染症対策の重責を担う保健所及び県立病院については、適切な職員配置や人材育成に注力するとともに、職員が安全かつ円滑に職務を遂行できるよう労働環境を整えることを要望します。

提言3 自殺者ゼロを目指すため、SOSをキャッチする体制構築を【一部新規】

支援が必要な方を確実に相談窓口等につなげるため、心の健康相談統一窓口をはじめとした各種相談機関の周知と専任スタッフの養成に取り組むことを要望します。同様に認知度の低いゲートキーパーについても広く県民に周知するとともに、コロナ禍に対応したゲートキーパー講座の実施を要望します。

提言4 経済対策には未来投資の視点を【新規】

飲食業や観光産業のみならずコロナ禍で深刻な影響を受けている中小企業等を支え、地域の経済や雇用を守るため、企業の事業継続や雇用確保支援、新卒者の就職支援を重点的に実施するほか、コロナ後のニューノーマルな社会を視野に入れた新産業の育成や起業・創業の支援を拡充することを求めます。

持続可能な群馬づくり

提言1 財政の持続可能性 ～財政健全化は慎重かつ強力に～【継続】

財政健全化に向けたと取り組みについては支持します。一方で、県有施設や県立病院の在り方検討については、県が担うべき公的使命を慎重に考慮し、拡充すべきところは拡充するという姿勢で臨むよう求めます。

提言2 山村地域の持続可能性 ～山村の価値を再構築～【新規】

移住促進策が充実する中、「選ばれる山村」を目指し、地域磨きや関係人口創出について県が積極的に支援するとともに、田園回帰1%戦略やT型集落点検など山村地域の自立を促す取り組みを支援するよう提言します。また、循環型の森林経営や農業による地域循環型経済への転換を進めるよう提言します。

提言3 環境の持続可能性 ～環境県をブランドに～【一部新規】

現在策定中の「群馬5つのゼロ宣言推進条例」で掲げている【温室効果ガスゼロ】【プラスチックごみゼロ】【食品ロスゼロ】に向け、自治体や事業者に対して県が指導的役割を発揮することを期待します。

提言4 社会保障の持続可能性 ～群馬モデルの構築を～【一部新規】

喫緊の課題として、医師・看護師の偏在解消、介護従事者の確保に知事の新たな発想で取り組むことを期待します。コロナ禍で各種検診率が低下していることから、県民に対して広く健康診断の必要性を啓発するとともに、受診しやすい環境整備に取り組むことを要望します。

公共投資の未来向的転換による産業政策

提言1 県民の命を守る道路の安全対策も優先的に【継続】

通学路緊急合同点検による危険箇所解消を速やかに実施するとともに、交通安全対策については予算を増額し、計画的に進めることを要望します。

提言2 ウォーカブル&コンパクトな交流と創造のまちづくりへ転換【継続】

公共交通政策は都市の持続可能性とブランド力向上に資するにもかかわらず、山本県政のもとでは後退しています。「交通まちづくり戦略」の「アクションプログラム」は、ハード整備と一体となって初めて効果を持つことから積極的に整備するように要望します。

提言3 エネルギー転換への投資を産業政策の新たな軸に【一部新規】

エネルギー転換は以下の3つの投資需要を創出する産業政策的視点から提言します。

1. 水素に代表される次世代エネルギー普及を推進し、新たな成長分野を開拓する。
2. 小水力やバイオマス、ソーラーシェアリング等の再生可能エネルギーを推進し、地域循環型・分散型の経済システムを確立する。また、自治体Jクレジットの導入についても積極的に取り組むこと。
3. 県内企業の「省エネ投資」および、使用電力を100%再エネ化する「RE100」を推進し、新たな投資需要を創出する。特に、現在策定中の「ぐんま5つのゼロ宣言推進条例」による強力な義務付けと手厚い支援策を組み合わせることにより再エネ導入目標達成に向けた本気度を示すよう要望します。

提言4 「プロモーション」から「プログラム」づくりへ観光政策の転換を【継続】

温泉ツーリズム、スポーツツーリズム、アグリツーリズムなど地域資源から魅力ある体験プログラムを創出し、新しい観光資源の開発に努めることを期待します。

「人」中心の社会・経済づくり

提言1 若者就職支援 ～第2の就職氷河期を回避するために～【継続】

コロナ禍で県内企業の求人意欲が減退している今こそ、Gターン事業等を通じて企業ネットワークを積極活用するよう提言します。

提言2 幸福度向上に資する働き方改革・働く女性応援を【一部新規】

IT分野で女性が活躍するチャンスが広がることによって、ジェンダーギャップを埋める効果が期待できます。多様な働き方の推進に繋がる人材育成の支援を強化するよう提言します。

提言3 教育現場の実行ある働き方改革を【新規】

コロナ禍において、子どもたちの心のケアの必要性が高まるとともに、教職員の業務負担も慢性的な多忙化に加え、コロナ対応で新たな業務が発生しています。教職員の負担軽減に繋がる人員確保や機動的な人員配置をスピード感を持って実施していくよう要望します。

提言4 子どもの命と未来を守る群馬づくりを【一部新規】

児童相談所の更なる体制強化と専門里親の育成支援、そして、ケアリーバーに対するサポート支援および当事者の声を活かした虐待予防策の充実を求めます。

また、「不登校」とみなされた児童生徒数が過去最多となっていることから、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置充実を求めるとともに、教育支援センターやフリースクール等と連携しながら児童生徒・保護者に寄り添った支援を行うことを要望します。

さらに、家族の介護やケアを行うヤングケアラー等が必要な支援を受けられるよう、学校や医療機関、福祉機関で連携しながら、地域におけるヤングケアラーの発見、相談窓口の充実などを積極的に進めることを要望します。

提言5 深刻化する「8050問題」に踏み込んだ対策を【新規】

ひきこもり世帯の発見に向け、詳細な実態調査の実施を求めます。訪問型の自立支援やクラウドソーシングを利用した就労支援、最終段階として家族と離れても生き方を持続できる見守りシステムの構築を要望します。

弱者・マイノリティに優しい県政

提言1 障がい者に優しい県政を【一部新規】

「群馬県障害を理由とする差別の解消の推進に関する条例」を推進するための啓発と相談体制の強化、事業者等への指導監督の強化を要望します。障がい者就労開拓支援事業や農福連携事業など、障がい者の活躍の場を広げる雇用施策を強化するよう要望します。

また、医療的ケア児支援法の施行を受けて、医療的ケアを安全に実施するために学校における看護師の人材確保と育成に関して自治体への財政的支援を行うことを求めます。

さらに、強度行動障害児者においては、強度行動障害児者の実態調査を行い、受け入れ環境の確保や適切な支援環境を整備することを求めます。

提言2 貧困に真剣に向き合う県政を【新規】

シングルマザー向けシェアハウスモデル事業については、離婚している家庭だけでなく、別居状態にある家庭も対象にする等、入居条件の緩和を求めます。また、ひとり親家庭が専門的な法律相談を希望した際に利用料を補助する「母子家庭等特別相談事業」の利用促進を要望します。

提言3 同和問題 条例制定を見据え踏み込んだ施策推進を【継続】

部落差別解消推進法に則り、相談体制の整備や教育・啓発を進めるとともに、結婚・就職に際する差別を防止するよう、事業者等に対する指導を強化する等の踏み込んだ施策を進めるよう提言します。

提言4 社会的マイノリティに優しい県政を【継続】

同性パートナーシップ制度の導入後も、県内外の導入済み自治体と連携を図るとともに、当事者の意見を反映させながらよりよい制度にしていくことを望みます。また、SDGsの「質の高い教育をみんなに」の観点から、群馬朝鮮初中級学校への補助金再開に向けた協議を進めるよう提言します。

活動報告

主な地元活動・参加行事

（掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。）

11月17日 議会運営委員会、リベラル議員団会議
11月20日 ぐんま女性議員政策会議×県立女子大KDGｓ懇談会、川曲町ちょっとしたお助け隊発足式
11月22日 前橋ＪＣ11月例会
11月24日 議会運営委員会、本会議、女性議員政策会議知事要望
11月25日 議案調査
11月26日 議案調査、まち映画『おかめきけ』関係者試写会
11月27日 ネット選挙勉強会、呑龍横丁リニューアルセレモニー
11月28日 全日本ｅスポーツ実況王決定戦
11月29日 一般質問
11月30日 一般質問
12月 1日 議案調査
12月 2日 一般質問、選挙区等検討委員会
12月 3日 議案調査、キャリちゃれ前橋、リベラル群馬知事予防
12月 5日 食と農の未来を考える会（鈴木宣弘先生講演会）
12月 6日 環境農林常任委員会
12月 7日 環境農林常任委員会
12月 8日 議案調査
12月 9日 議案調査
12月12日 前橋ＪＣ12月例会・卒業例会
12月13日 連合議員懇webセミナー（自殺対策）
12月14日 本会議、選挙区等検討委員会
12月15日 農業経営士会・農村生活アドバイザーとの研修会
12月16日 本会議、前橋東ＲＣクリスマス例会
12月17日 ＧＡＣＨｉ群馬県議会×高校生(沼田特別支援学校)
12月18日 宇宙少年団前橋分団クリスマス例会
12月21日 ＤＸに関する特別委員会、連合議員懇総会
12月23日 前橋市社会教育委員会
12月28日 前橋弁護士懇話会忘年会、前橋市消防団歳末特別警戒
1月 1日 各町内新年互例会、クレインサンダーズ観戦
1月 5日 県議会新春交換会、上毛新聞社新年交歓会
1月 7日 前橋商工会議所新年互例会
1月 8日 宇宙少年団前橋分団熱気球
1月 9日 各町内どんど焼き、前橋市成人祝い、前橋初市祭り
1月10日 各町内どんど焼き
1月11日 部落解放同盟新春荊冠旗びらき
1月12日 選挙区等検討委員会
1月13日 古市町長寿会新春の集い
1月15日 各町内どんど焼き
1月16日 各町内どんど焼き、松竹院新年厄除け祈願
1月17日 たんぽぽ小学園訪問、茂木紘一画伯個展（ギャラリーフロム前橋）
1月18日 前橋ＪＣ１月例会
1月20日 議会運営委員会、『おかめきけ』知事訪問
1月21日 臨時議会、選挙区等検討委員会
1月22日 前箱田町新春交流会、梅サミット
1月23日 梅サミット
1月30日 オンラインミーティング「自転車をもっと楽しく安全に」、ヤングケアラーシンプジウム
1月31日 ゲートキーパー講師養成講座
2月 1日 環境農林常任委員会
2月 2日 玉村町長意見交換
2月 3日 各町内節分祭

Facebook & BLOG

akira-o.jp/blog/ GO!

たんぽぽ小学園

投稿日：2022年１月17日

前橋市議会議員の三森さんと玉村町のオルタナティブスクール【たんぽぽ小学園】にお邪魔しました!こちらは2016年に開校した市民立の学校で、いわゆる公教育とは異なる独自の教育理念や方針により運営されています。（不登校や引きこもりになった子どもが昼間過ごす場所という意味合いが強いフリースクールと違って、オルタナティブスクールは最初から別の選択をするという意味合いが強いです）
今日は理科の授業を見学させていただきましたが、「自由電子が見えたなら?」というテーマで仮説実験授業を行い、子どもたちは自分なりの仮説を立てながら、実際に実験してみて、結果に驚き、たくさんのことに気づき、楽しく、自分らしく学んでいました。
授業の中には「畑の時間」もあって、農薬や化学肥料に頼らずに、みんなで草を刈ったり、育てたい野菜の栽培方法を考えたり、昆虫や草花のことを調べたりと、畑の中からもたくさんのことを学んでいるそうです。
このようなオルタナティブスクールは近年少しずつ増えていますが、ほとんどは無認可で学校教育法の法制度上に位置付けられていません。子どもたちは公立の学校に籍を置いたままで、オルタナティブスクールへの通学が出席扱いになるかどうかは各学校長の裁量となります。
また、税金で運営されている公立学校とは違い、運営費も自分たちで賄う必要があります。毎月の授業料がかかるのでオルタナティブスクールに通わせたくても経済的事情で叶わない家庭もあるそうです。
栃木県では学校以外の学びの機会を保障するため、交通費と活動費を月最大1万円補助する制度を実施しているので、群馬でも子どもたちの学びの機会を広げるための施策を考えていきたいですね。

まち映画『おかめきけ』
～群馬発！上毛かるた奮闘記～

投稿日：2022年１月20日

群馬県民おなじみ「上毛かるた」をテーマに、コロナ禍で葛藤を抱えながらも、たくましく成長していく若者たちを描いたまち映画が完成しました!本日、阿野プロデューサーと原作者の西山さんと一緒に、映画完成報告とPRのお願いで山本知事のもとにお邪魔しました!
1月28日からはいよいよイオンシネマ（高崎・太田）で劇場公開が始まります。コロナ禍で色々なことを我慢している人、頑張っている人、全ての人に見てもらいたい映画です。ぜひご覧ください。

おかめきけ
公式サイト

サポーター・ボランティア募集

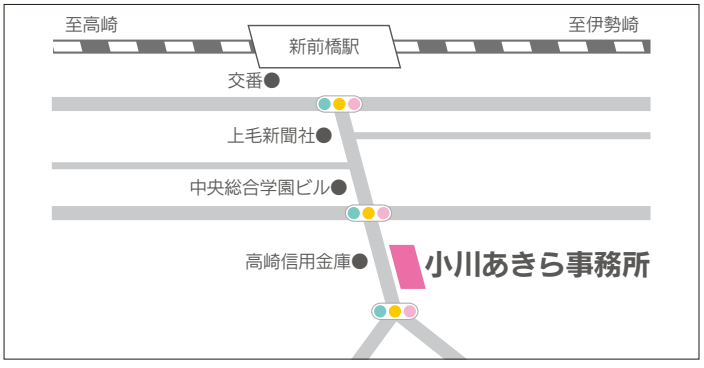
みんなおいでよ!!

Akira OGAWA

1982年・農家の長女として誕生。
中央大学在学中に司法試験合格。
前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。
2011年・群馬県議会議員（初当選）。
現在３期目・リベラル群馬。

お神輿（お祭り）好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか!?

小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F
TEL.027-255-7700 FAX.027-255-7788
URL.http://akira-o.jp Email info@akira-o.jp